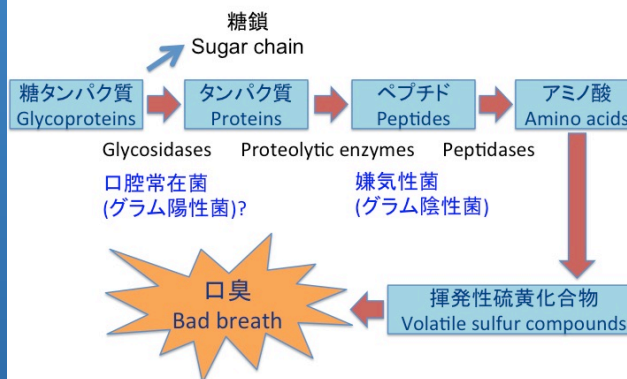


# 口臭と健康

口臭は、口腔疾患、耳鼻咽喉科疾患、全身疾患、ストレス、生活習慣など、さまざまな原因で起こります。口臭の原因の 9 割は口腔由来で、残りの 1 割が耳鼻咽喉・全身由来であるといわれます。

口腔由来の口臭の主な成分は揮発性硫黄化合物 (VSC) です。VSC は、口腔内の嫌気性菌がタンパク質を分解することによって発生します。歯周病原細菌には、これらのタンパク分解酵素を持つものが多くみつかっています。

## 口臭は嫌気性菌によるタンパク分解産物



しかしながら、口腔内には約 700 種の微生物が共存し生態系を作っており、口臭の研究は口腔常在菌を含めた口腔細菌叢という単位でアプローチする必要がある、と私たちは考えます。

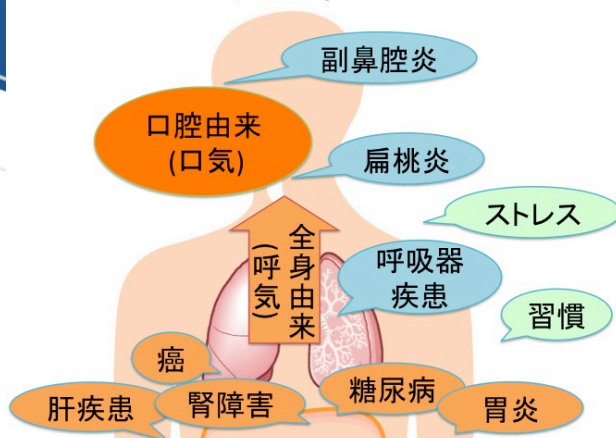
現在進めている研究は、口臭に関連する口腔細菌叢の解析、糖タンパク質から糖鎖を切断する過程でのグラム陽性菌の関与、口臭予防治療法の開発 (プロバイオティクス、亜鉛イオン、S-PRG イオン溶

出液、天然抗菌成分など)、喫煙と口臭の関連性、ピロリ菌感染と口臭の関連性、などがあります。細菌叢解析では、九州大学や日本大学と協力して研究を行っています。

プロバイオティクスや喫煙、ピロリ菌については、口臭と全身の健康を考えて研究を進めています。特にピロリ菌と口臭の関連性については、これまでエビデンスとなる研究が殆どありませんでした。その一因として、医科と歯科の連携が難しかったことが考えられます。私たちは外科学分野と協力し、ピロリ菌除菌の過程で口臭検査とサンプル採取を行い、変動を調べています。

このように、総合歯科学分野では、口臭の研究を通じて予防口腔医学の推進に取り組んでいます。

## 口臭の原因



# 総合歯科学分野